

平成 23 年第 7 回加西市教育委員会会議録

1. 開会日時 平成 23 年 7 月 27 日（水） 13 時 30 分
2. 閉会日時 同 日 15 時 00 分
3. 開催場所 加西市農村環境改善センター 2 階研修室
4. 出席委員 委 員 長 荒 木 貴 子
委 員 渡 邊 隆 信
委 員 市 場 かおり
教 育 長 永 田 岳 巳

5. 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名

教育次長	大 西 司
事務局参事	塩 見 善 則
学校教育課長	小 林 剛
こども未来課長	前 田 晃
こども未来課主幹	後 藤 則 子
自己実現サポート課長	立 花 聡
総合教育センター副所長	柿 本 博 司
教育総務課長	深 田 秀 一
教育総務課主幹	中 倉 建 男
教育総務課課長補佐	千 石 剛

6. 付議事項

議案第 39 号 平成 24 年度教科用図書の採択について

7. 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8. 質問及び討議の内容

議案第 39 号 平成 24 年度教科用図書の採択について

学校教育課長より、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 13 条第 4 項の規定により、北播磨採択地区協議会から平成 24 年度中学校教科用図書について、答申があったため、その採択について委員会の議決を求めるものと説明し、原案どおり可決される。

9. 議決事項

議案第 39 号 平成 24 年度教科用図書の採択について

原案どおり可決

10. 報告事項

(1) 教育長の報告

就任して 1 週間が経過し、その間の出来事について報告する。

就任した初日に、台風 6 号に伴う警報の関係で学校対応をする。2 日目からは北播磨の 5 市町の教育委員会を訪問し、いずれの教育委員会も加西市の教育について注目度が高いと感じ、学校教育に関して高評価をしていただいていた。今後、高評価を裏切らないような努力をしていかなければならない。

また、加西市の学校教育の内容について関心がある市民から、最近、多くのご意見をいただいている。必要に応じて、学校教育課長を通じて各学校長に指示、連絡等している。次に、市長のマニフェストに関わる課題については、それぞれ判断して取り組んでいきたいため、教育委員の皆様のご支援とご協力をお願いしたい。などを報告する。

(2) 教育次長の報告

教育次長より、平成 23 年度第 1 回播磨東管内地区教育長会議について、平成 23 年 7 月 12 日に加古川で東播磨管内 11 市郡町の教育長が集まって開催され、県教委の報告として、高等学校の通学区域を見直す動きがあり、通学区域検討委員会による最終案により、7 月に県下 7 地区、東播磨では明石市でパブリックコメントを行っている。学区が現在の 16 学区から、統合して 5 学区にする案が出ている。また、道徳の副読本について、県が最重点課題として力を入れており、各市町の取組について情報交換を行い、小学校における教科担任制の実施状況や小中連携の実施状況、教員の人材育成についてもそれぞれ情報交換を行った。

播磨東地区教育委員会連合会総会及び研修会について、今年度は加西市が会長市となっているため、平成 23 年 7 月 14 日に青野運動公苑で開催し、午前中に理事会、午後から総会と研修会を運営する。参加者は 11 市町の教育長 7 名と教育委員・事務局職員の 39 名の参加があった。来賓には、播磨東教育事務所長の藤原所長、兵庫県市町村教育委員会連合会事務局長の森本局長に参加いただく。総会後の講演会を兵庫教育大学の日渡教授にお願いし、以前宮崎県の実践や取組にふれながら講演をいただいたことなどを報告する。

(3) 教育総務課主幹の報告

教育総務課主幹より、耐震化工事の進捗状況について、北条中学校地震改築工事は、8月に新校舎が完成し、8月末に移転後9月1日より新校舎を使用する。9月より旧校舎の解体を行い、24年3月までに駐車場とグラウンド整備を完了する計画である。

また、九会・富合・泉小学校体育館耐震補強工事は、予定通り7月に契約し、現場調査と仮設工事に着手していることを報告する。

(4) 学校教育課長の報告

学校教育課長より、台風6号上陸における警報発令に伴う各学校の対応について、各学校へは、注意喚起を行い、施設管理を含めた対応を依頼する。終業式当日の朝方まで警報が発令されており、後に解除されたため、段階的に終業式を行う、などを報告。次に、夏季休業中の児童・生徒の生活について、小学校においては、ラジオ体操やプール開放を行っている。また自由研究等で池・川に近づく場合は、保護者同伴などの対応を求めている。中学校においては、東播大会が開催されるが、熱中症についての注意喚起を行っていることなどを報告する。

(5) 自己実現サポート課長の報告

自己実現サポート課長より、公民館夏休み子ども講座について、11講座を開催予定で、環境学習・体験学習を行い、各公民館の特色を活かした内容となっていること。次に、文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業の採択について、募集の結果、いくつかの団体から申し込みがあり、事業内容は、地域の文化遺産継承事業・地域の文化遺産情報発信を行う事業・地域文化遺産を体験する事業・伝統文化の普及啓発事業となり、各団体が各事業を行っていく。また協議会として、加西市歴史文化遺産活用活性実行委員会を立ち上げること、などを報告する。

(6) こども未来課長の報告

こども未来課長より、夏季預かり保育について、幼稚園児を対象に午前8時から午後6時の保育所と同じ時間帯で実施し、人数は、北条幼稚園では7月が18名、8月が17名、九会幼稚園では7月が27名、8月が30名の参加がある。内容としては市内6幼稚園から集まっている。また、夏季学童保育について、小学校1年生から3年生を対象に、本年度は西在田と富合に新しい学童保育を開設し、合計8学童で実施。利用者は合計で、7月の夏休み前では221名、7月の夏休み中は245名、8月では243名となっている。昨年度と比べ2割以上増加しており、今後さらに必要になる傾向が伺えることなどを報告する。

(7) 総合教育センター所長の報告

総合教育センター所長より夜間相談室の開設について、保護者や教員の相談窓口として専門家による相談室を開設し、運営に関しては、開設日・相談員・受付（予約）方法などを説明し報告する。

11. 協議事項

(1) 報告事項の中から

文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業について

教育委員より、文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業の採択について、補助事業として単年度で終わらせず継続的に取組むことが可能かとの質問があり、自己実現サポート課長より、国庫補助事業として3ヵ年の継続事業として取組んでいるものと説明する。

夏季学童保育について

教育委員より、未開設の小中学校区における夏季学童保育の開設について質問があり、こども未来課長より、国庫補助にかかる要件を満たすことによって開設できるものと説明する。

夏季預かり保育について

教育委員より、夏季預かり保育における受入れ枠について質問があり、こども未来課主幹より、午前2名、午後2名の4名によるローテーションにより運営しており、現状ではほぼ目一杯と説明する。

夜間相談室について

教育委員より、予約制の相談はということで、予約の方法について質問があり、総合教育センター所長より、基本的には電話となるが、特に方法は問わないと説明する。

12. 教育委員の提案

教育委員より夏休み中のプール開放について、学校間の差異に関する質問があり、学校教育課長より、各校PTAとの調整により現状の運営形態にあると説明する。

また、学校における扇風機の設置状況の差異に関する質問があり、教育次長より、学校ごとに独自に導入している現状であり、教育委員会としては、壁掛け扇風機の一括導入を目指して、補正で予算要求したが、認められなかったと説明する。教育委員から、暑さの厳しいなか教育環境の改善のための対策を要望される。

教育委員より、学校あり方検討委員会の答申があったが、教育委員会の自立性や継続性を確立させるため、これを受けての教育委員会としての対応や方向性をしっかりさせていく必要があるのではないか、との意見があり、教育長より、答申書においては学校統廃合だけではなく、教育内容に関する記述も多くあるため、意見として尊重したうえ十分な検討を行っていきたいと説明する。

13. 今後の予定について

- ・ 第 8 回定例教育委員会 8 月 22 日（月）13：30～ 1 階多目的ホール
- ・ 第 9 回定例教育委員会 9 月 22 日（木）13：30～ 5 階(大)会議室

この会議録は、事務局職員が作成したものであるが、真正であることを認めここに署名する。

平成 23 年 7 月 27 日

出席委員

(出席委員署名)